



2016年10月期 第2四半期決算説明資料

2016年6月14日(火)
株式会社オハラ(証券コード:5218)

- ◆ 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料(計画を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ◆ ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。
- ◆ この資料の著作権は株式会社オハラに帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

-
- ◆ **2016年10月期 上期決算の概況** **P03～09**

 - ◆ **2016年10月期 通期業績見通し** **P10～18**

 - ◆ **耐衝撃・高硬度クリアガラスセラミックス
ナノセラム™ のご紹介** **P19～27**



2016年10月期 上期決算の概況

業績のポイント

<事業環境>

- ◆ デジタルカメラ市場は、コンパクト、レンズ交換式ともに需要減少
- ◆ 露光装置市場は、半導体は弱含みの一方、FPD向けは好調

<当社業績>

- ◆ 光事業は、光学機器用レンズ材の需要が低調に推移。生産性向上で収益性改善も営業赤字
- ◆ エレクトロニクス事業は、売上高横ばいも、石英ガラスのミックス改善で損益良化

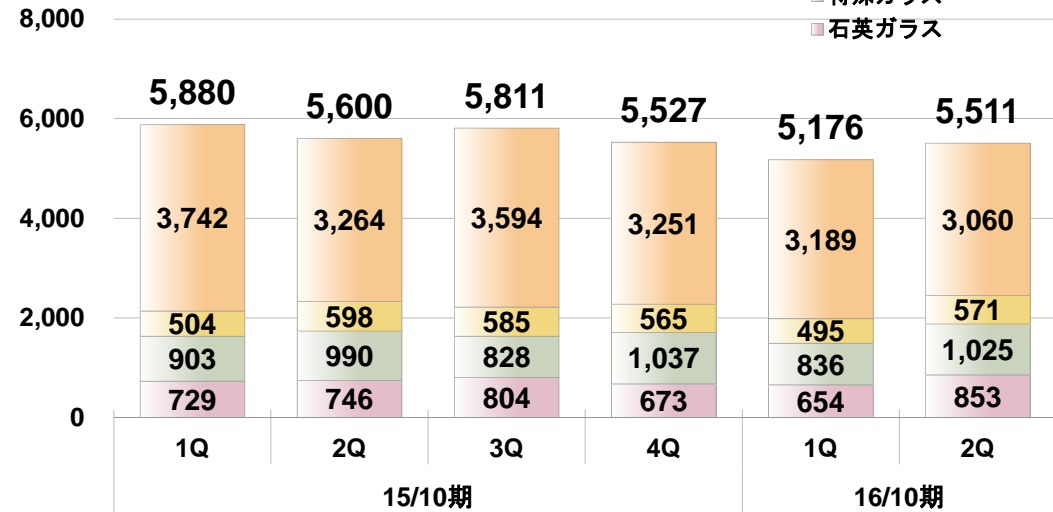
業績サマリー

(単位:百万円、%)

	15/10期 上期	16/10期 上期	増減
売上高	11,481	10,687	△793 △6.9%
営業利益	△59	85	144
[営業利益率]	△0.5%	0.8%	—
経常利益	385	△158	△544
[経常利益率]	3.4%	△1.5%	—
純利益 (親会社株主に帰属)	325	△351	△677
[純利益率]	2.8%	△3.3%	—
為替レート 円/1USD 円/1EUR	期中平均 118.84 137.10	期中平均 116.71 128.34	

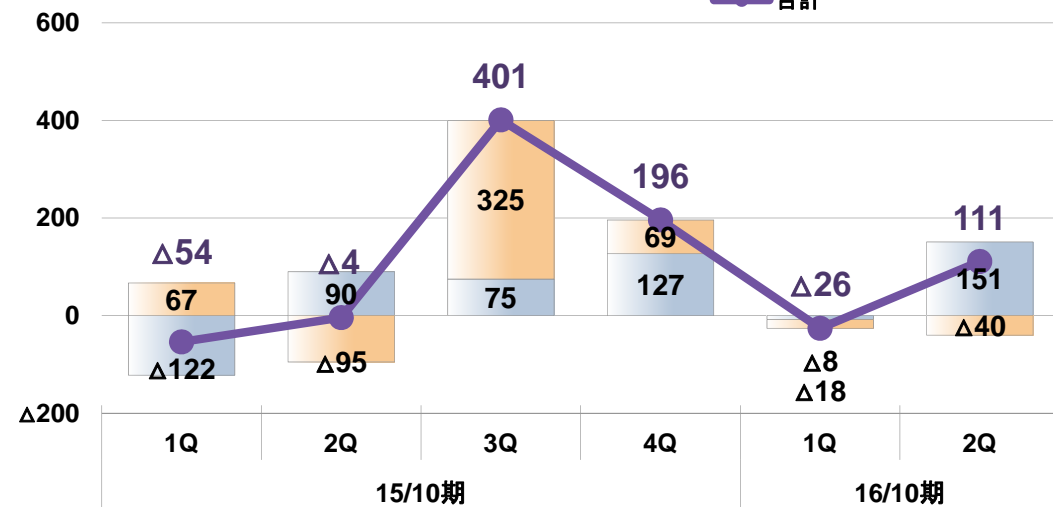
<売上高四半期推移>

(単位:百万円)



<営業利益四半期推移>

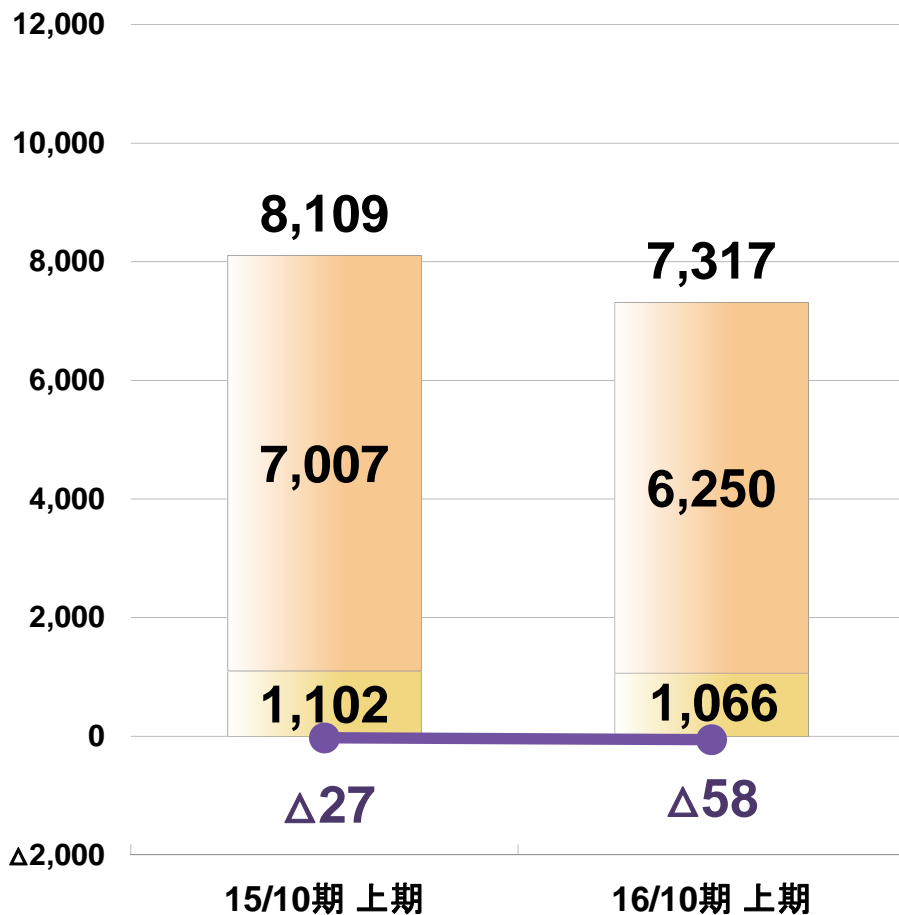
(単位:百万円)



<上期対比>

(単位:百万円)

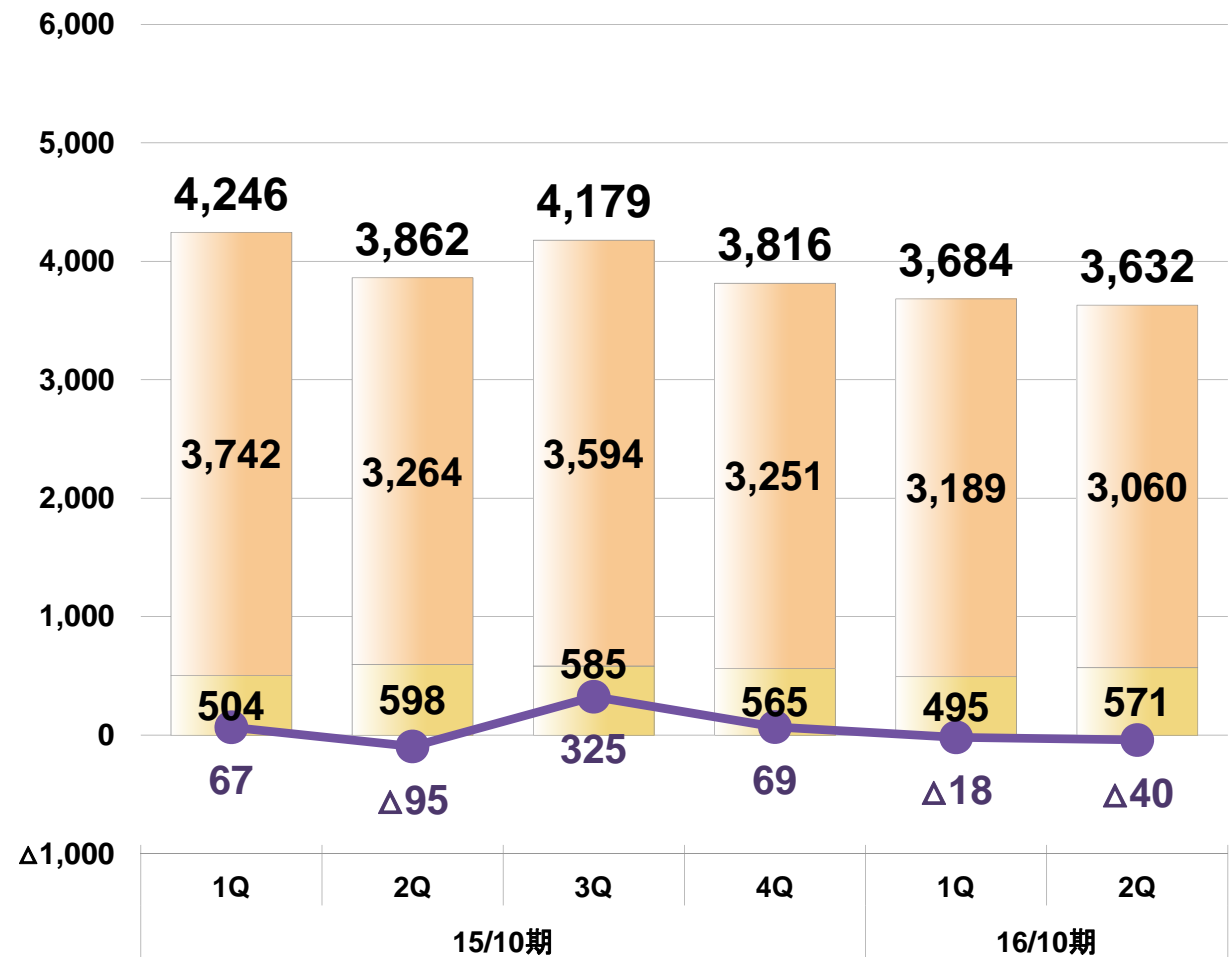
- 光学プレス品売上高
- 光学ブロック品売上高
- 営業利益



<四半期推移>

(単位:百万円)

- 光学プレス品売上高
- 光学ブロック品売上高
- 営業利益

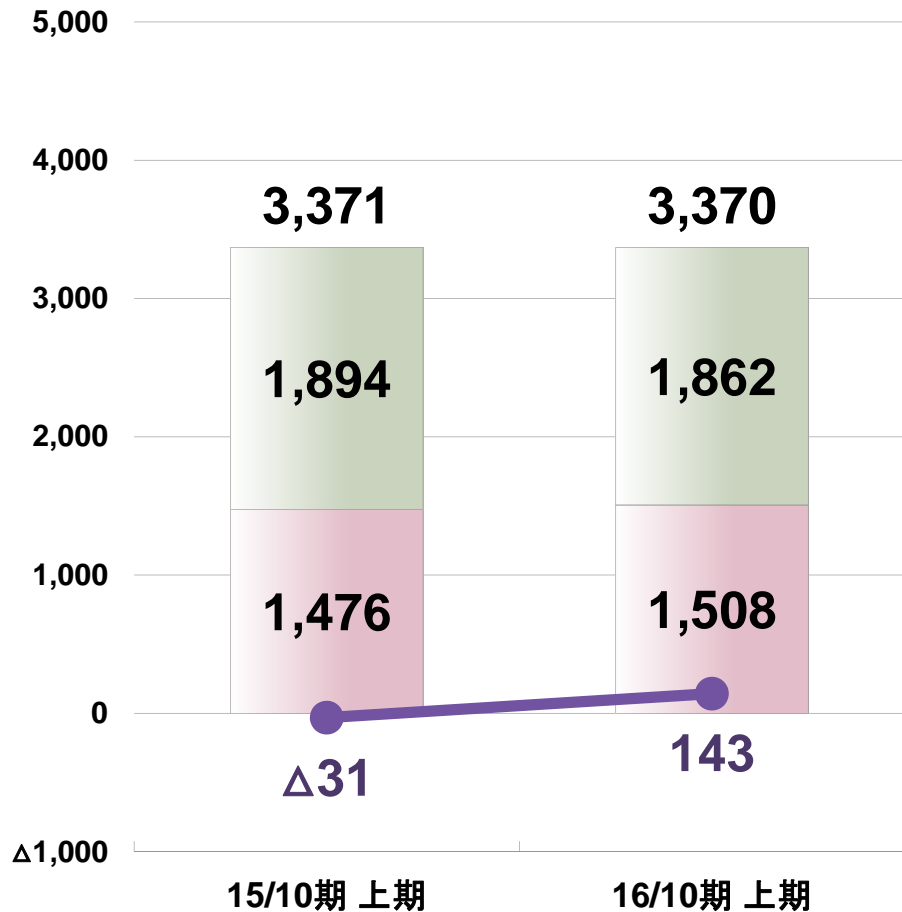


エレクトロニクス事業

<上期対比>

(単位:百万円)

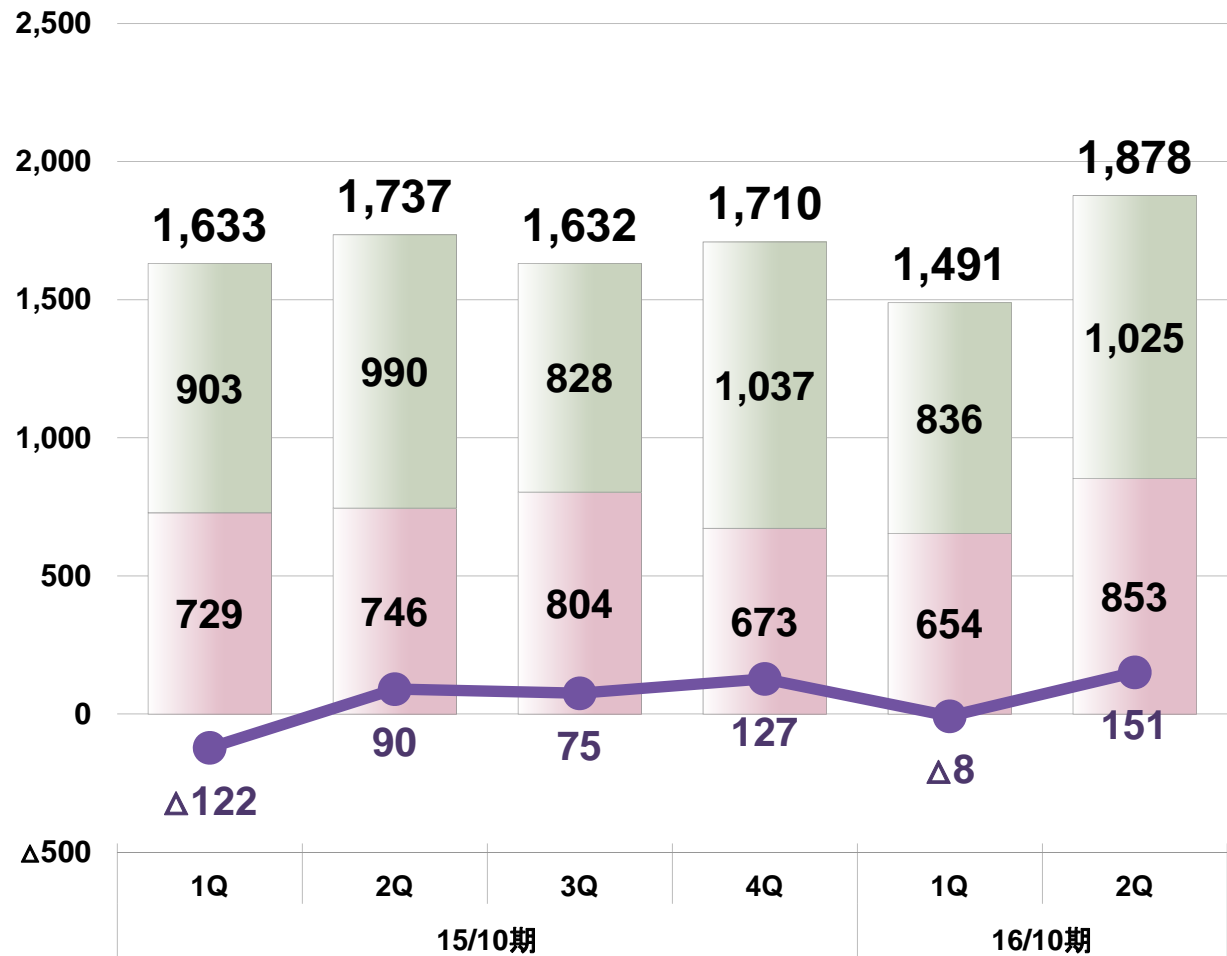
- 特殊ガラス売上高
- 石英ガラス売上高
- 営業利益



<四半期推移>

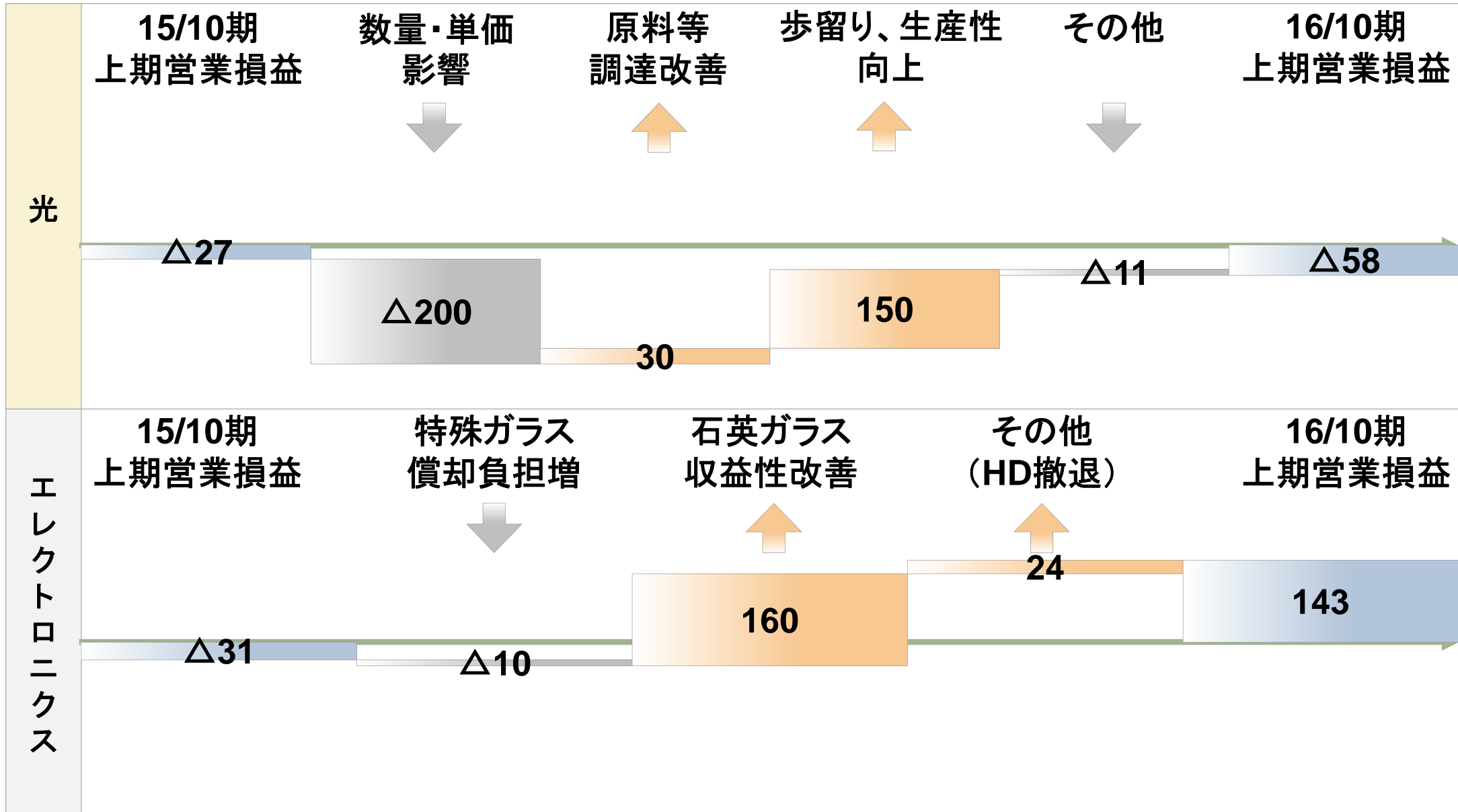
(単位:百万円)

- 特殊ガラス売上高
- 石英ガラス売上高
- 営業利益



(単位:百万円)

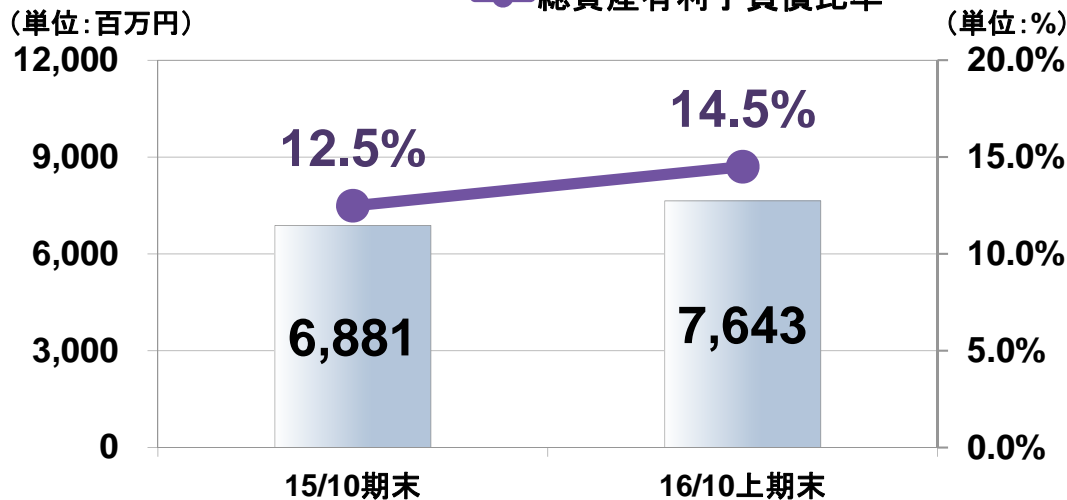
営業損益増減要因



キャッシュ・フロー



<有利子負債>



(単位:百万円)

営業CF増減主要因

税金等調整前純利益	△158
減価償却費	753
為替差損益	273

投資CF増減主要因

固定資産の取得	△1,086
固定資産の売却	307

財務CF増減主要因

借入金の返済	△316
配当金	△363
リースバックによる収入	1,113



2016年10月期 通期業績見通し

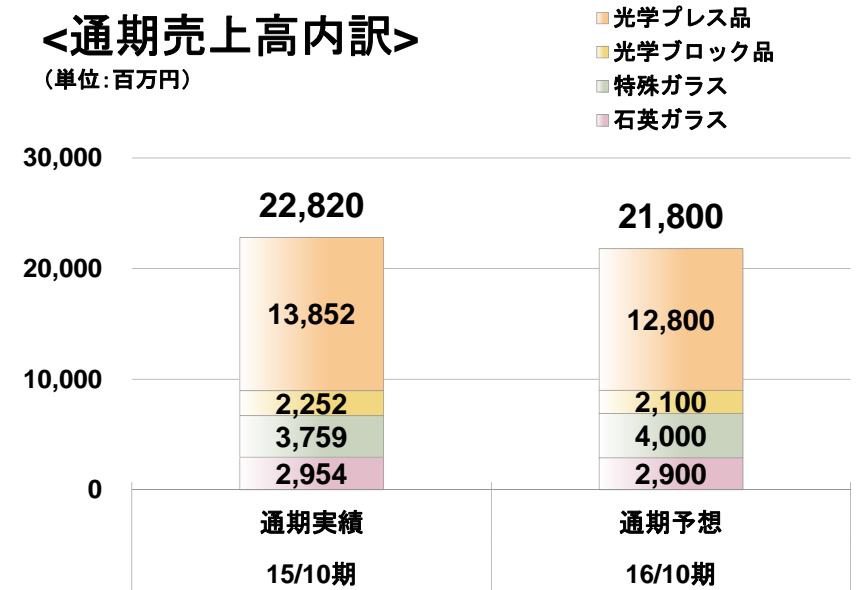
通期見通しサマリー

(単位:百万円、%)

	15/10期 通期実績	16/10期 通期予想	増減
売上高	22,820	21,800	△1,020 △4.5%
営業利益	538	440	△98
[営業利益率]	2.4%	2.0%	△18.3%
経常利益	1,316	340	△976
[経常利益率]	5.8%	1.6%	△74.2%
純利益 (親会社株主に帰属)	545	50	△495
[純利益率]	2.4%	0.2%	△90.8%
為替レート 円/1USD	期中平均 120.42	期中平均 110.00	
円/1EUR	136.59	125.00	

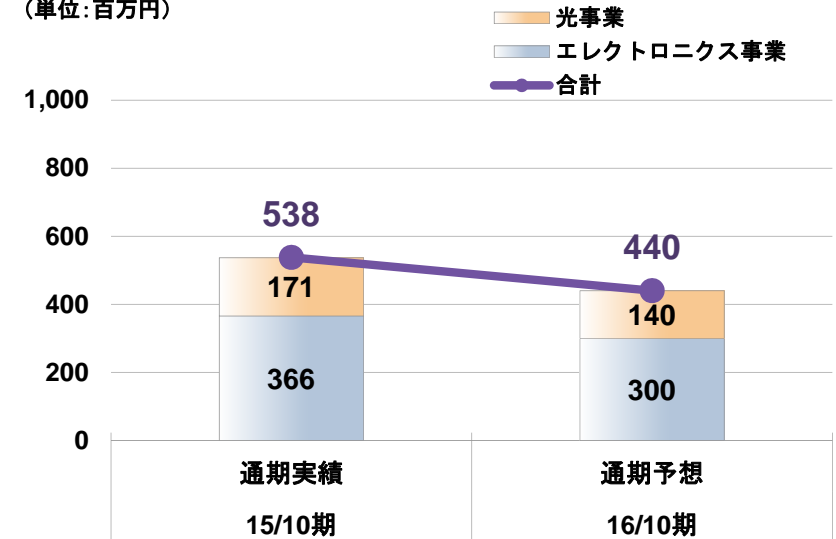
<通期売上高内訳>

(単位:百万円)



<通期営業利益内訳>

(単位:百万円)



光事業見通しのポイント

<事業環境>

- ◆ デジタルカメラ市場は、コンパクトは市場縮小が続き、レンズ交換式も需要の回復時期が見込みづらい状況
- ◆ 監視カメラ、車載カメラは高精細化が進展する見込み

<当社状況>

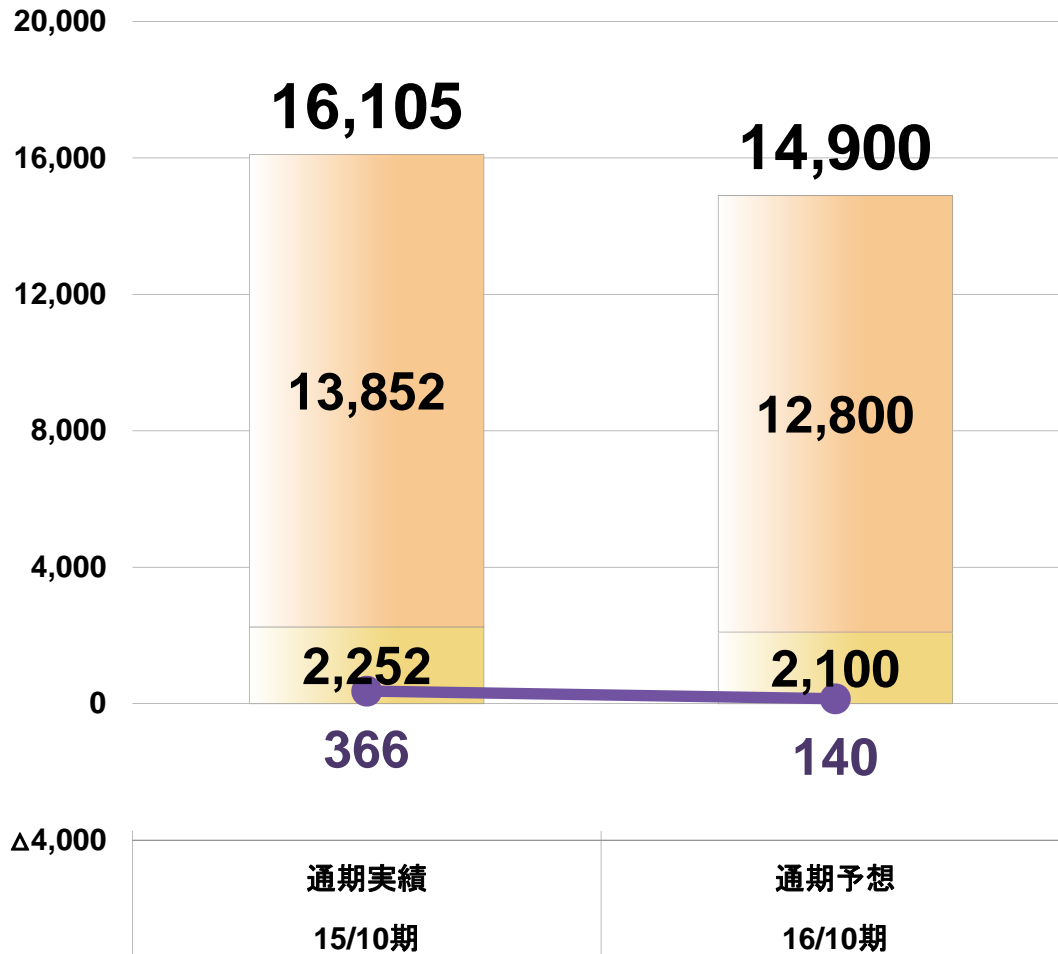
- ◆ デジタルカメラ用レンズ材は、底打ち時期ずれ込み、生産性の改善を推進
- ◆ 中大口径ガラスモールドレンズなど高付加価値製品や高精度化ニーズへの対応を進め、利益率向上を図る

光事業見通し

<通期対比>

(単位:百万円)

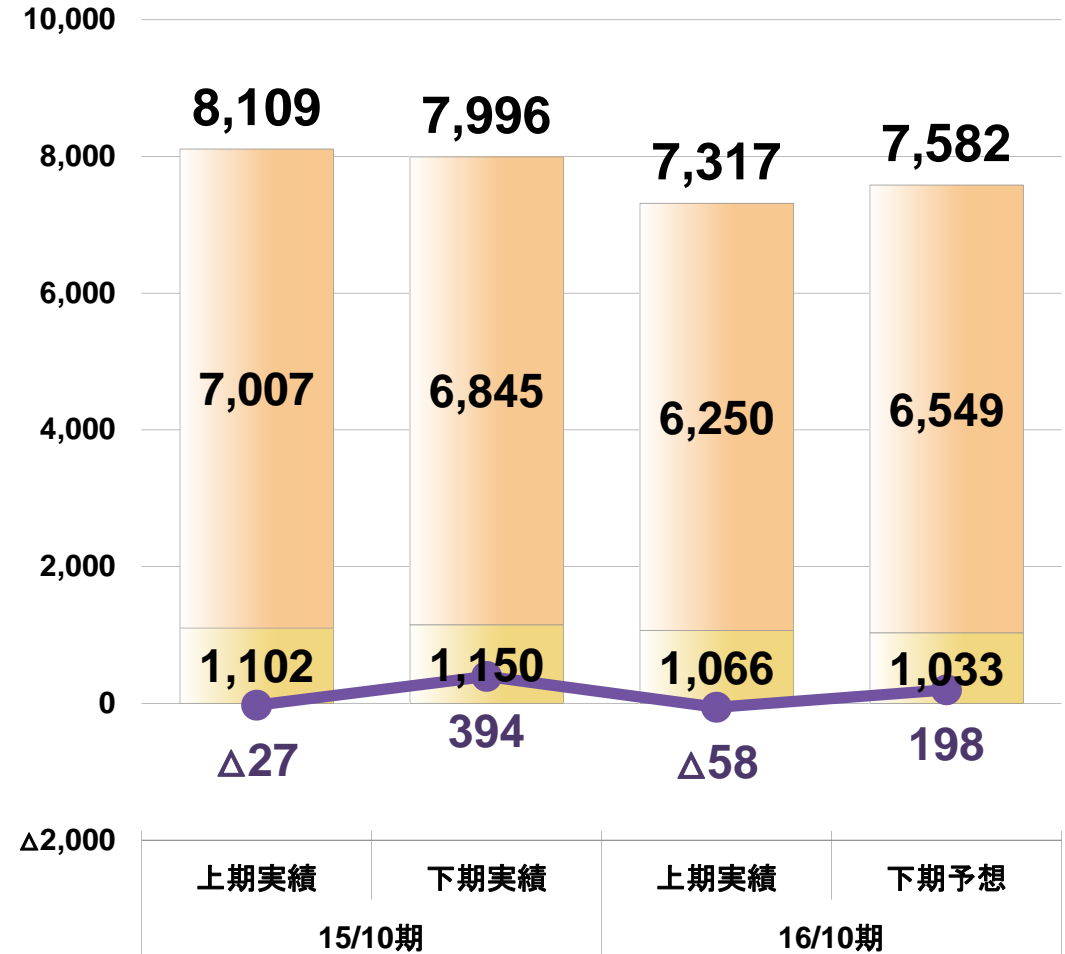
- 光学プレス品売上高
- 光学ブロック品売上高
- 営業利益



<半期対比>

(単位:百万円)

- 光学プレス品売上高
- 光学ブロック品売上高
- 営業利益



<事業環境>

- ◆ 露光装置市場は、半導体は弱含みの一方、FPD向けは有機EL向け需要の増加もあり好調
- ◆ 大型天体望遠鏡など、宇宙・天文関連の需要は拡大

<当社状況>

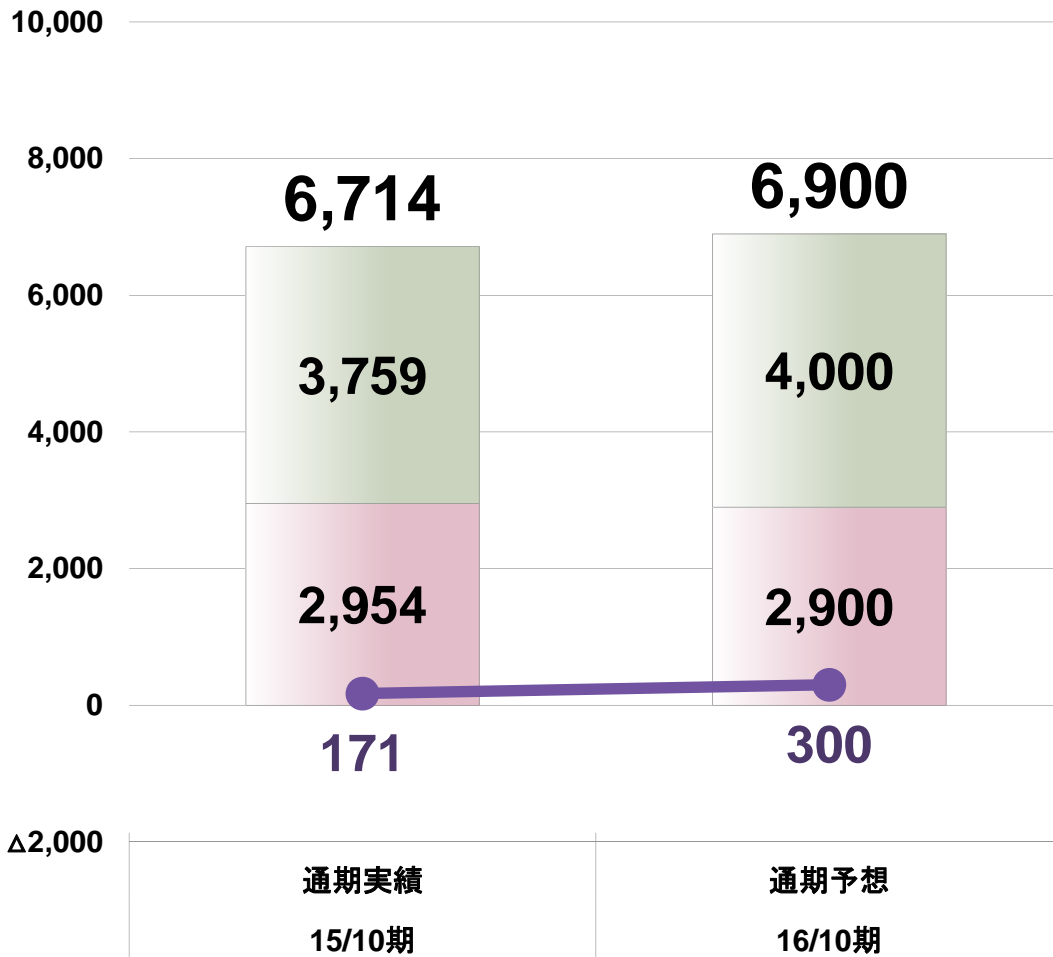
- ◆ 極低膨張ガラスセラミックスは、設備増設により需要増に対応し、積極的な営業活動を推進
- ◆ 機能性ガラスの開発及び拡販を加速、スマホ用カバーガラスなどへ展開

エレクトロニクス事業見通し

<通期対比>

(単位:百万円)

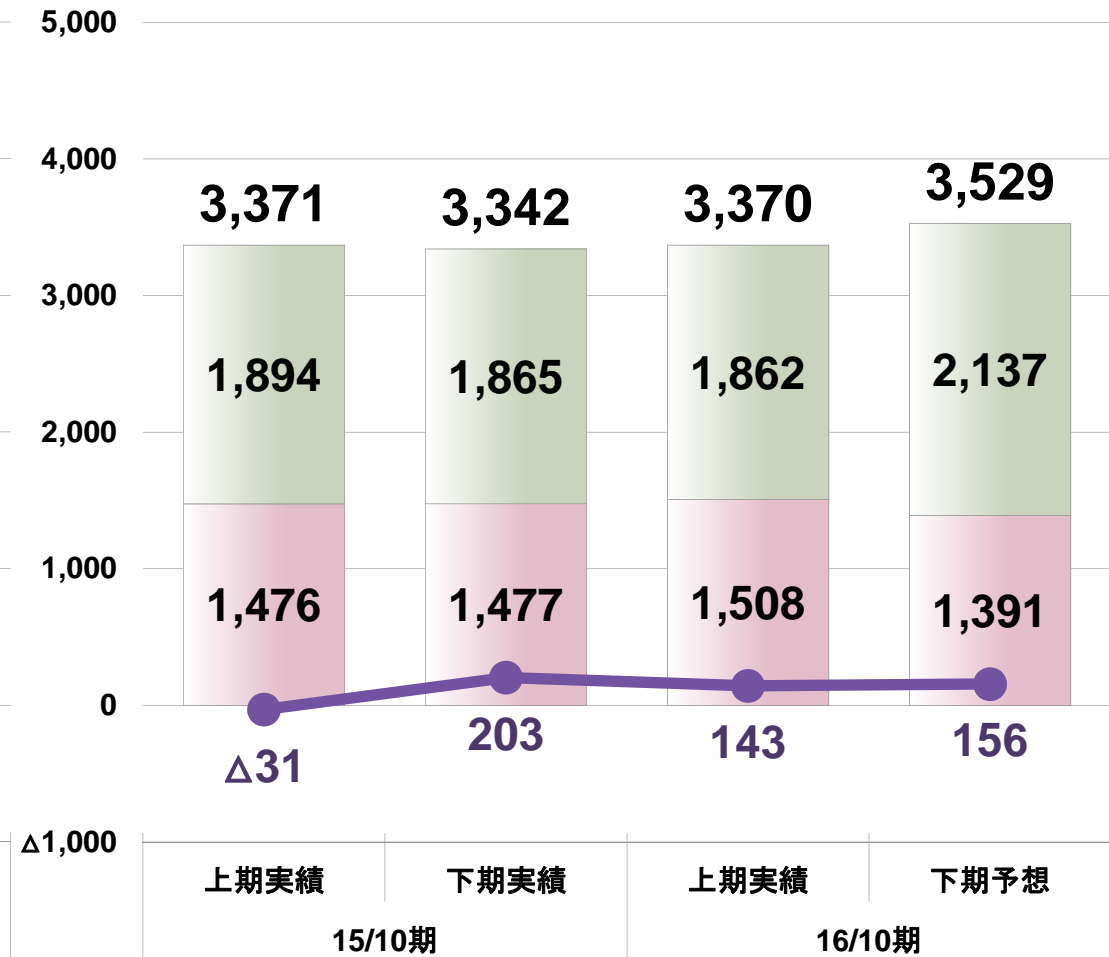
■ 特殊ガラス売上高
■ 石英ガラス売上高
● 営業利益



<半期対比>

(単位:百万円)

■ 特殊ガラス売上高
■ 石英ガラス売上高
● 営業利益

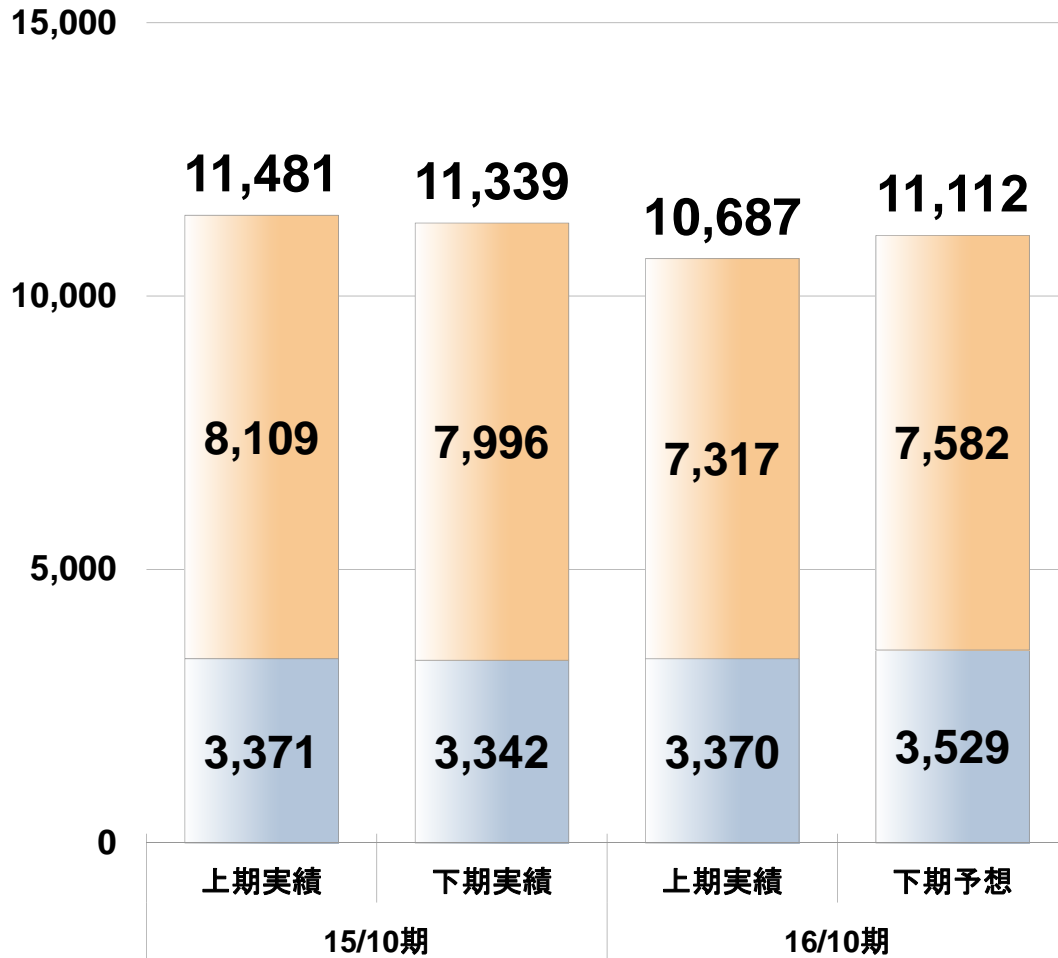


見通し数値まとめ

売上高

(単位:百万円)

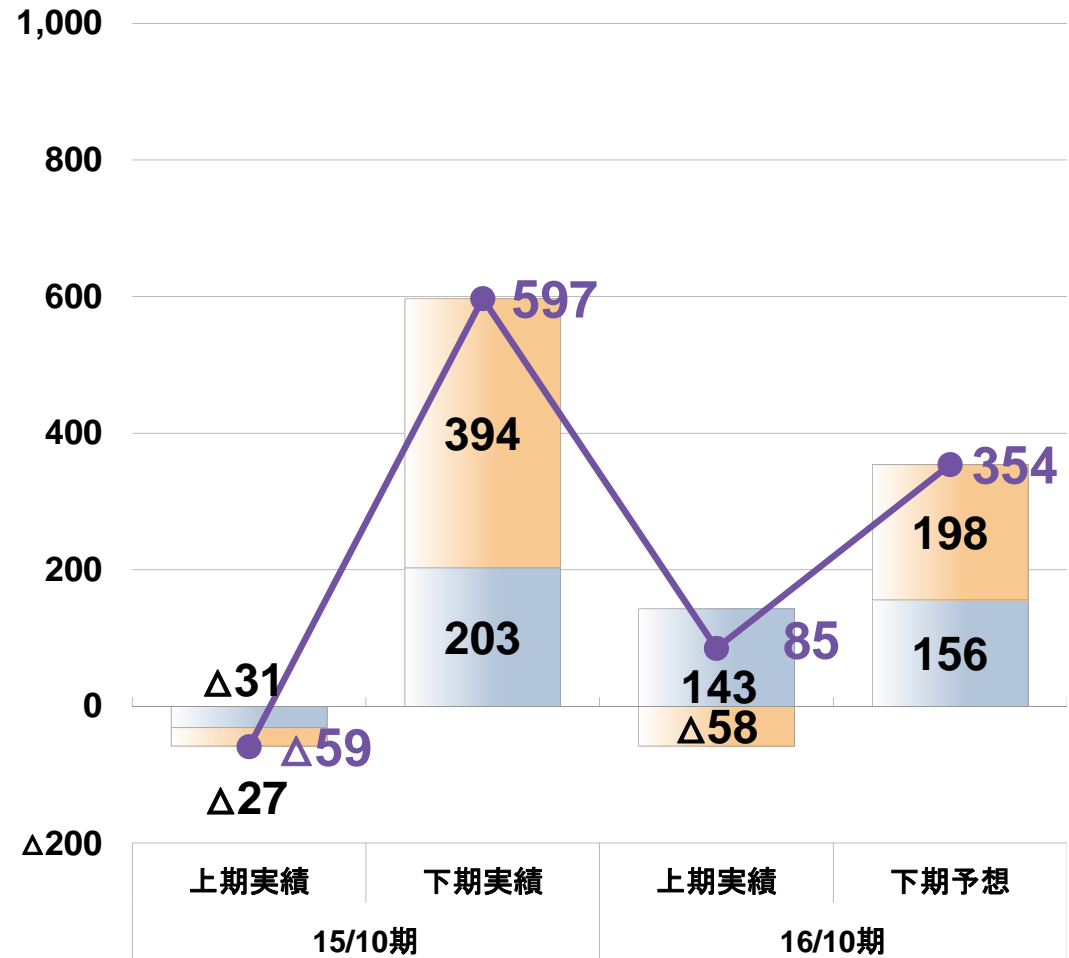
- 光事業
- エレクトロニクス事業



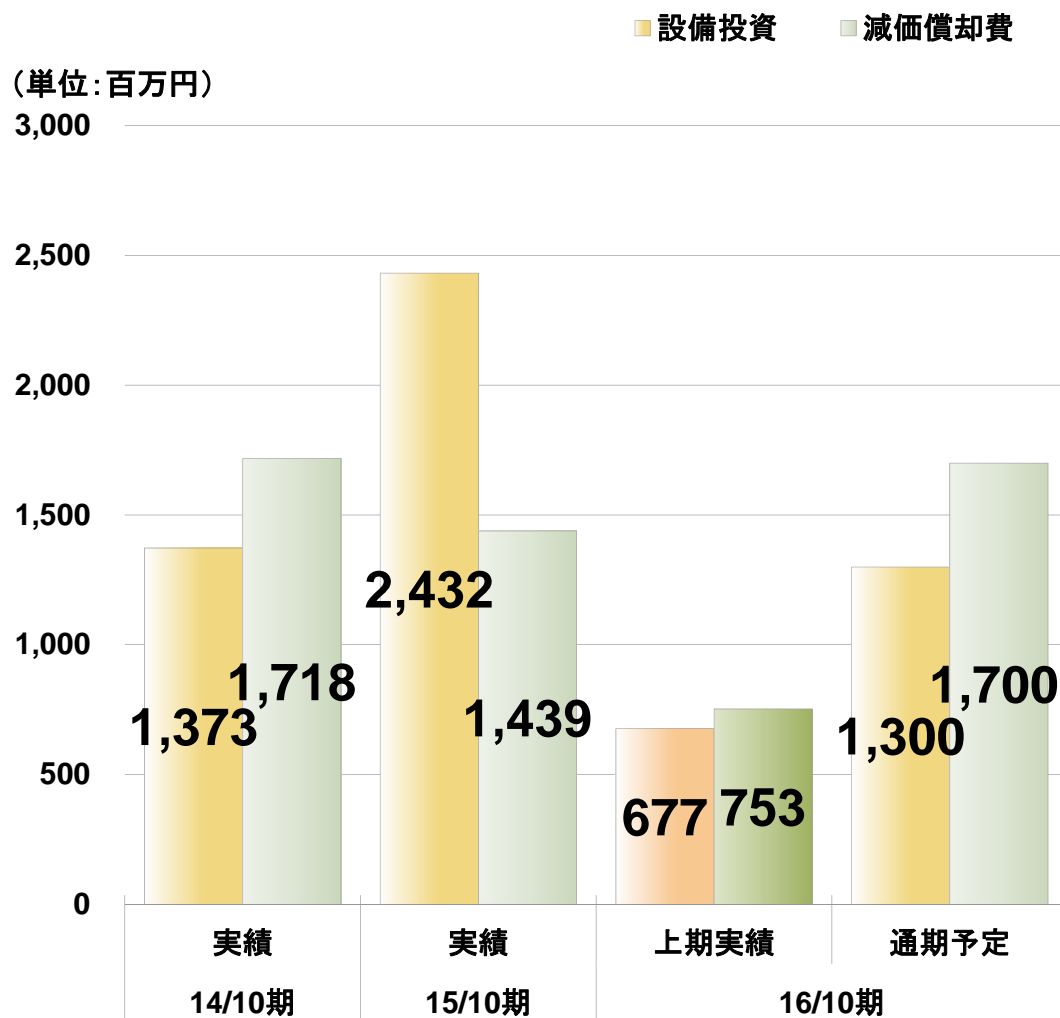
営業利益

(単位:百万円)

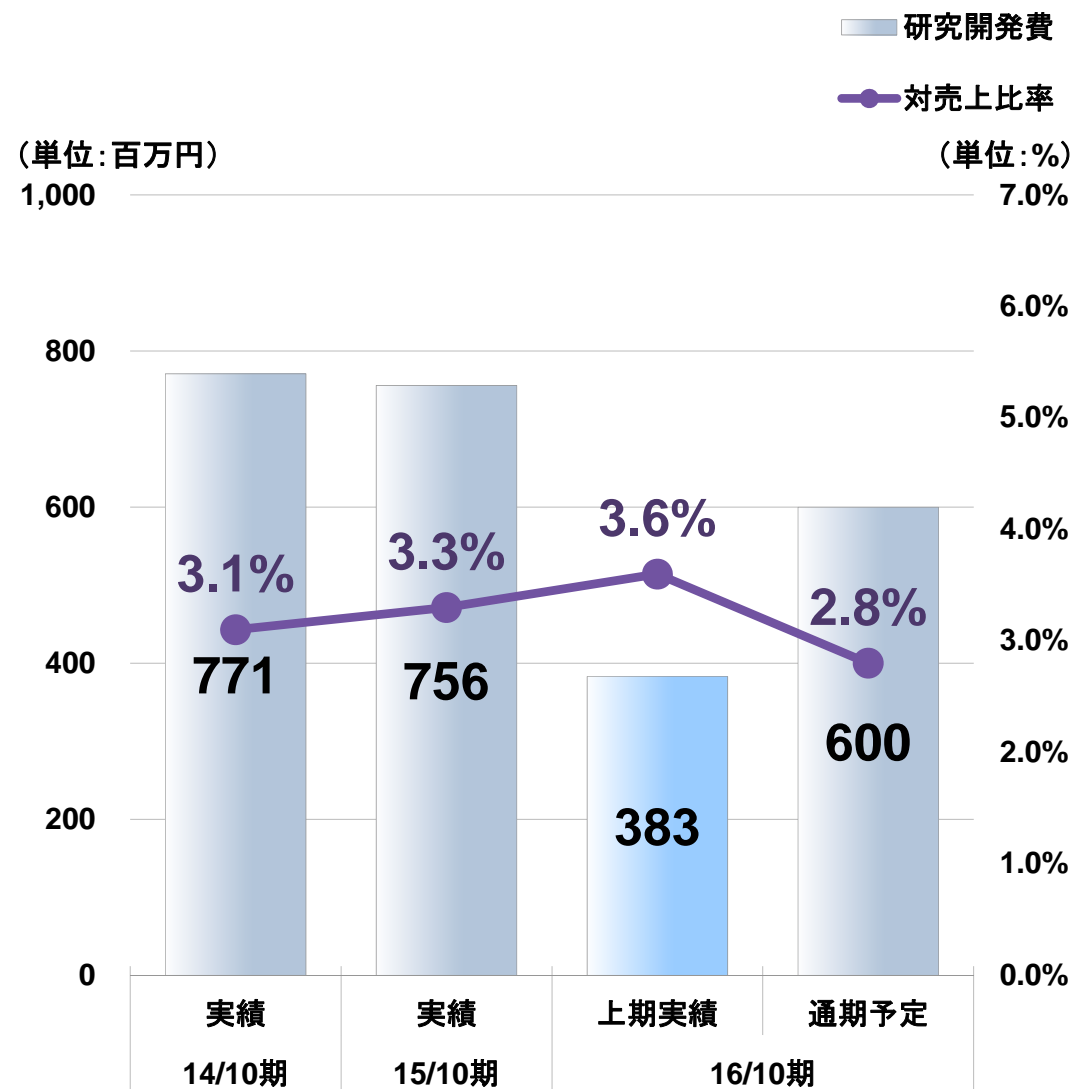
- 光事業
- エレクトロニクス事業



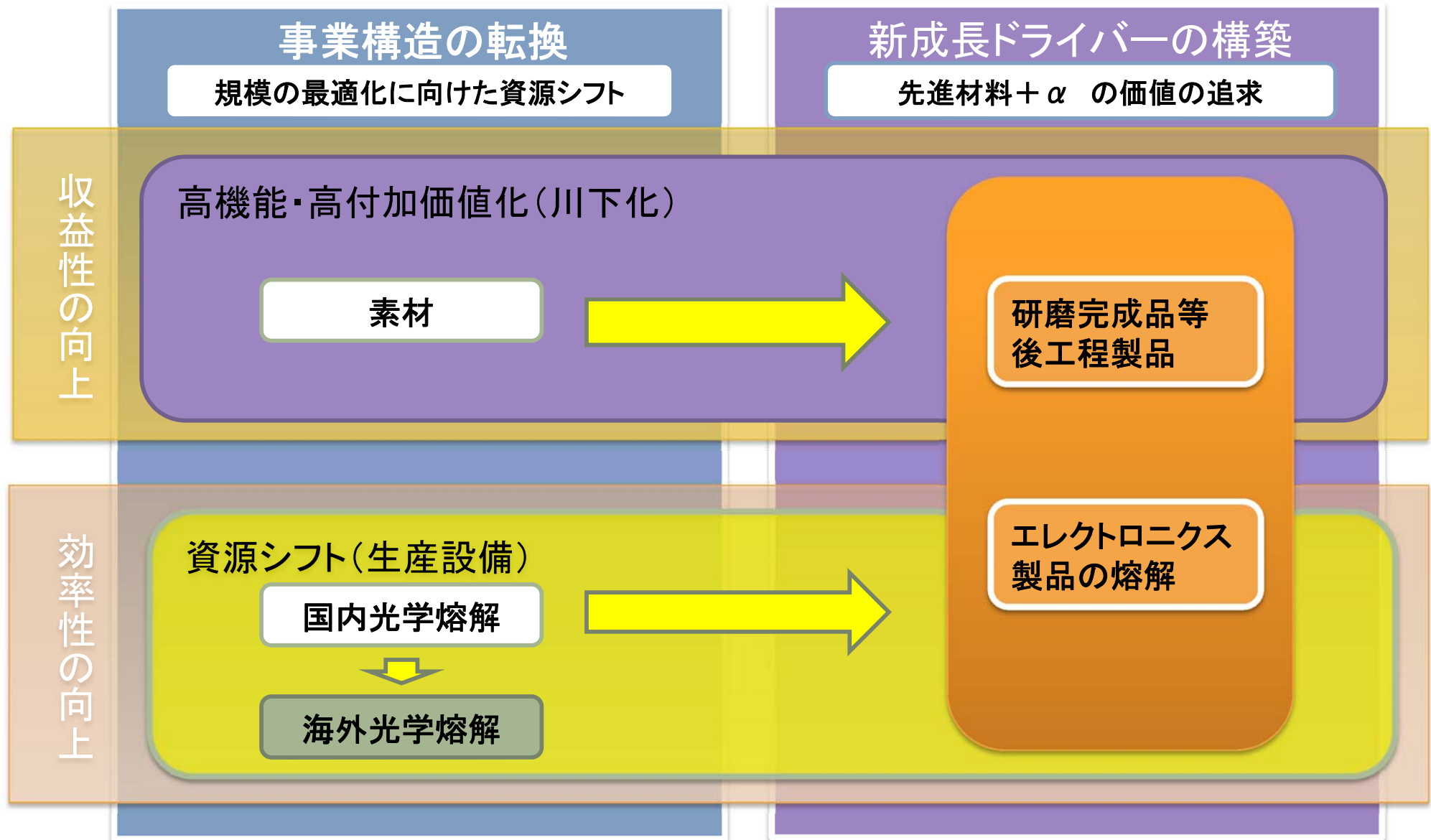
設備投資、減価償却費



研究開発費



事業構造改革の方向性

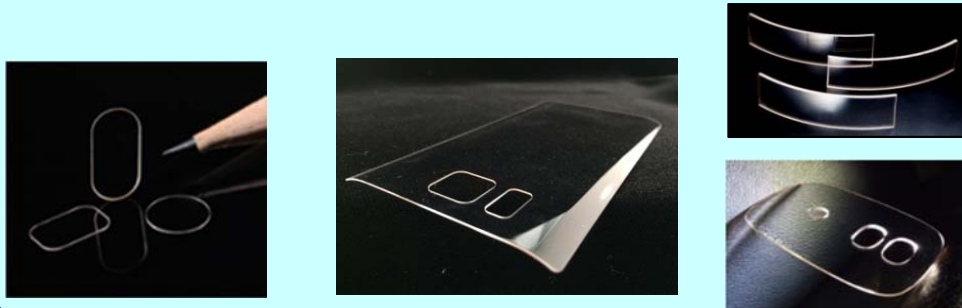




耐衝撃・高硬度クリアガラスセラミックス
ナノセラム™ のご紹介

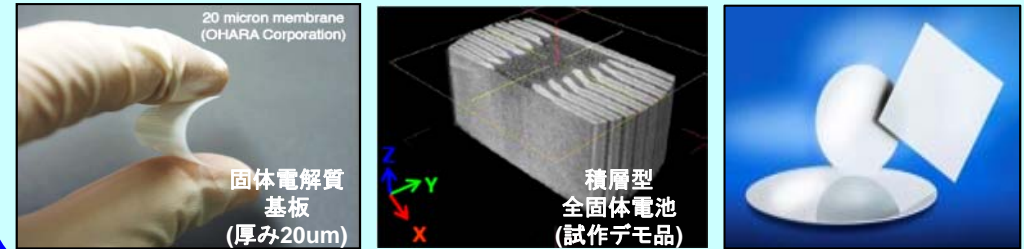
エレクトロニクス事業開発の方向性

耐衝撃・高硬度クリアガラスセラミックス
ナノセラム™
(モバイル、オートモーティブ)



リチウムイオン伝導性ガラスセラミックス
LICGCT™
(次世代電池向け)

金属リチウム空気電池及び全固体電池向け固体電解質

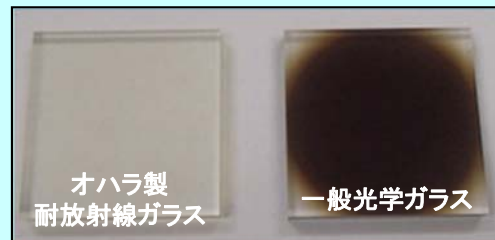


光触媒ガラスセラミックス
(耐アンモニア脱臭用途)

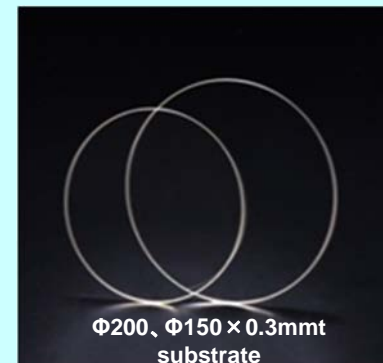


空気清浄機
光触媒フィルター

耐放射線ガラス
(原発、宇宙用途)
5種の光学定数を
ラインナップ
Nd:1.51~1.62
Vd:36~64



大口径高屈折率薄板ガラス
(ウェアラブル(VR)用途)

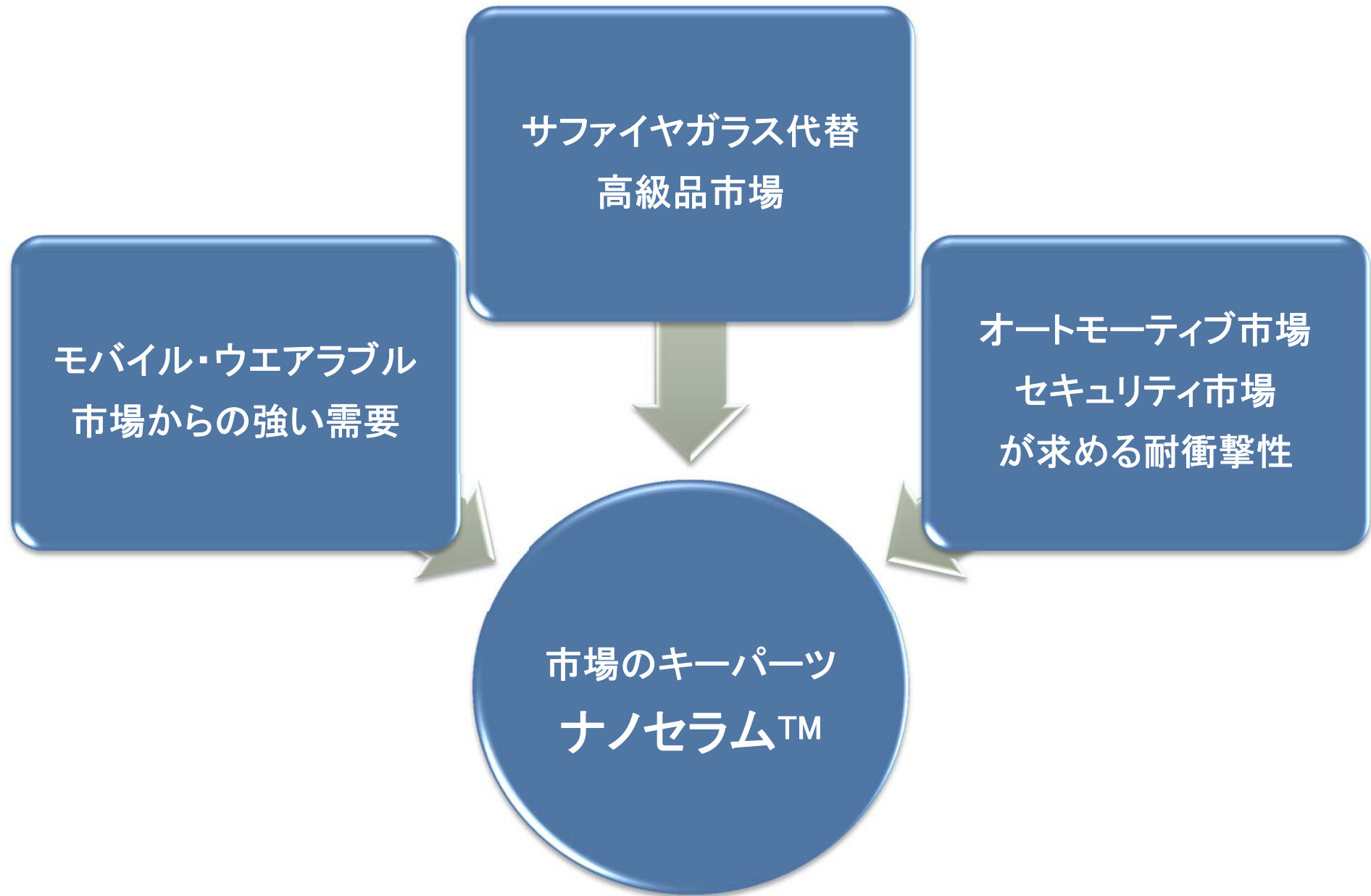


Φ200、Φ150×0.3mmt
substrate

Nd: 1.80
Nd: 1.75



ナノセラム™のターゲット市場



ナノセラム™の市場価値

サファイヤガラスの価格と加工性に満足できない市場、化学強化ガラスの強度不安定に満足できない市場に対し、オハラが提案する耐衝撃性・高硬度・加工性に優れる夢の新素材

ナノセラム™ 顧客評価及び量産加工メーカー評価状況(4社平均)

耐衝撃性

落球試験評価 サファイヤガラスの 2.8 倍、化学強化ガラスの 2.6 倍

・ ナノセラム™ >>> 化学強化ガラス > サファイヤガラス

静圧強度

4点曲げ強度 サファイヤガラスの 3.7 倍、化学強化ガラスの 2.8 倍

・ ナノセラム™ >>> 化学強化ガラス > サファイヤガラス

耐スクラッチ性

サンドペーパー試験 サファイヤガラス同等、化学強化ガラスの 3.0 倍

・ サファイヤガラス > ナノセラム™ >>> 化学強化ガラス

研磨加工性

研削・研磨・強化・3D熱加工(時間、収率、破損)

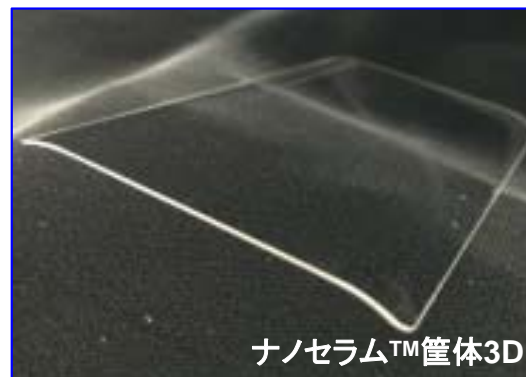
・ ナノセラム™ >>> 化学強化ガラス >> サファイヤガラス

ナノセラム™のターゲット市場と評価状況①

モバイル市場(スマートフォン・タブレット)

次世代技術の低迷と市場の頭打ち打開に向け、今までに無い高耐衝撃性素材が求められる。
 →主カスマホメーカー6社が限定モデルやタフモデルでの基礎評価完了、
 量産工程による認定評価中

- ①有機EL → パネル薄型化により、カバーガラスも薄く強く
- ②カバーガラス → 筐体での3D化
- ③第5世代移动通信(5G) → 電波の反射が少なく、割れないガラス筐体が必要



ナノセラム™のターゲット市場と評価状況②

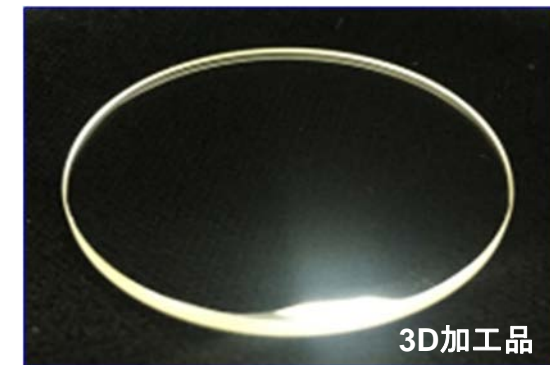
ウェアラブル・腕時計市場

スマートウォッチ市場の拡大に、腕時計メーカーも追従を始めた。
サファイヤガラスを上回る素材の需要はナノセラム™が実現。

→主力7社がナノセラム™評価を開始

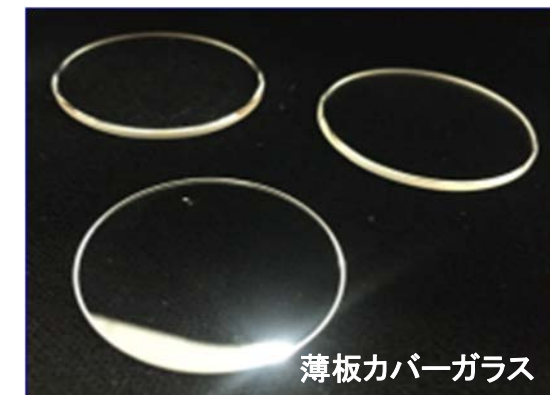
①3Dの複雑な形状への対応

→ サファイヤガラスは加工が難しい



②薄く強いカバーガラスが必要

→ タッチパネルの感度向上のため



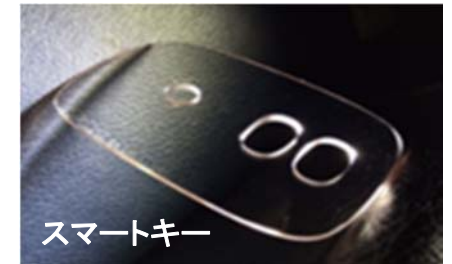
ナノセラム™のターゲット市場と評価状況③

オートモーティブ市場

タッチパネル化、内装の高級志向、車内外カメラの複数装備等、自動車の安全基準をクリアする割れないガラスの要望が急増。

→主力3社がナノセラム™評価を開始

- ①インパネ、内装、タッチパネル
- ②HUD(ヘッドアップディスプレイ)コンバイナー
- ③スマートキー(画像表示機能付)
- ④ADAS(先進運転支援システム)用カメラカバーガラス



ナノセラム™のターゲット市場と評価状況④

セキュリティ関連市場

過酷な環境での使用、テロ対策(打撃、火災)等、セキュリティ用カメラカバーガラスの需要が急増。サファイヤガラス置換え需要

→主力5社がナノセラム™評価を開始。

- ①監視カメラカバーガラス(耐候性・防犯性等)
- ②電車乗降確認カメラ、ホームドア用センサーカバー
- ③天文・宇宙・航空用窓、カバーガラス等
- ④FA等設備監視用カメラ、センサ用カバーガラス



電車用乗降センサーカバー

ナノセラム™の今後について

デジタルカメラの交換レンズ用プロテクター向けの生産は開始
市場拡大に向け、国内・外での販売を推進中

モバイル、ウェアラブル、スマートウォッチ、オートモーティブ、
セキュリティ市場による基本評価が完了し、量産・工程認定へ

光事業の資源をシフトさせ、量産対応に向け始動
本事業では、今後3年間で量産熔解設備を増設し本事業を強化する
材料ベースの売上規模は3年後に 30億円／年を見込む

OHARA